

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」あかねヶ丘校			
○保護者評価実施期間	R8年 1月 6日 ～ R8年 1月 7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	R8年 1月 6日 ～ R8年 1月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりの特性に応じた、個別対応やマンツーマン形式の個別支援を実施している。	児童の状況を多方面から把握・理解したうえで、一人一人に合わせた支援を組み合わせている。	言語聴覚士や作業療法士など、他校舎の専門職の力も借りながら、より利用者に合った活動を行っていく。 他校舎との相談会を通じて、支援に関する情報を共有したり他校舎で行っている活動内容を知ったりすることで、自身の支援に活かしていく。
2	職員の質の向上のために、研修の機会や法人内で研修を開催できている。	法定のものに限らず職員のポジションやニーズに応じた研修が会社内で設定され、それらに参加することができる。また外部の研修にも希望をすれば参加することができる。	一般財団法人発達支援研究所と連携して専門スタッフを育成、研修を行い、発達の側面から最先端のサービスを提供している。
3	早期療育を推奨しているため、ベビーきらりを実施（0歳～3歳を対象）	未満児が多く通所している施設に訪問するようにしている。未満児向けの教材を多く作成している。	利用者数を増やすために、周知活動を活発化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所を出ると、すぐに大通りのため特に退所時に子どもが飛び出して、事故に繋がる危険性がある。	校舎の立地が大通りに面している。	保護者と手をつないで退所できるように声掛けを行ったり、大人が施錠したりする。
2	フロアが大きすぎるため、子どもの行動が活発になり怪我に繋がりがやすい。	個室は2部屋、相談室が1部屋あるが、大きな広間で体を動かす活動をする時がある。	クールダウンの時間を設ける。 怪我をしないような環境設定をする。
3	まだ開所して間もないため、あかねヶ丘校の存在を知られていない。	まだ開所して間もないため。	周知活動やSNS投稿をたくさん行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月14日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」あかねヶ丘校

利用児童数

2

回収数： 2

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0	活動スペースが広く、今までになかった活動ができ、とても喜んでいるので良かったです。	ご意見ありがとうございます。広いスペースで今後も様々な活動に取り組んでまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0	子どもの特性に合わせて、目的に沿った活動をして頂けているので助かります。	ご意見ありがとうございます。これからもお子さま一人一人の特性の知識を共有し合い、支援内容を組み立てて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0	子どもも毎回活動を楽しみにしています。飽きないようにさまざまなプログラムを組んで頂き、とても工夫されていると感じます。	ご意見ありがとうございます。創意工夫を重ね、より充実した活動プログラムを提供できるよう、これからも努めて参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	0	0		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	0	2		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	0	0	0	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	2	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	0	0	0	2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0	先生にも慣れ、親の見守りがなくても楽しんでいるので、親子共に安心して通所しています。	ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0	クラゼミ楽しみ！と毎回通所を楽しみにしています。	ありがとうございます。これからもお子さまが楽しく通所できるように努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0	好きなこと、興味のあることを通して学ぶことができ満足しています。また沢山出来たことが増え、子どもの自信にも繋がっているようです。通所を楽しみにしているので、通わせて良かったと感じています。	貴重なご意見ありがとうございます。頂きましたご意見を真摯に受け止め、より良い支援ができるよう指導員一丸となって取り組んで参ります。

【ご意見ご感想】 事業所へのご意見や感想をお願いいたします。

活動スペースも広く、以前とは違う活動もして頂けているので、本人はとても楽しいと満足しています。小学校入学前に読み書きの練習もでき、本人の自信にも繋がっているようです。

好きなこと、興味のあることを通して学べるよう、たくさん工夫して頂き、本人もとても楽しく活動できています。楽し過ぎてテンションが上がってしまい、活動からそれることがあっても柔軟に対応して頂きとても助かります。

いつもありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」あかねヶ丘校
------	------------------------

公表日 2026 年 2 月 14日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもでもわかりやすいようにイラストを加えた張り紙を壁や扉に貼っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		校舎が広い分、週1回掃除の時間を設け、衛生面に配慮をしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集中して活動に取り組む場合は個室を活用し、動きたいときには広間を活用し、利用児がのびのびと活動できるように取り組んでいる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝のミーティングで当日取り組む内容を確認し、終業前にも当日の振り返りと次回の業務内容の大まかな確認を行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	まだ外部評価の機会がない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の研修に参加しており、また他校舎と意見交換する場も設けている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が計画を作成後、必ず指導員にも確認をする流れになっている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が計画を作成後、必ず指導員にも確認をする流れになっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	まだ集団活動を行うことができていないため、子どもが集まるように周知活動を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日支援前に打ち合わせを行い、可能であれば短時間ではあるものの小集団を設けている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		気づいた点は、口頭だけではなくデータにも残し、その場にはいない職員にも情報共有できるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	開所間もないため、モニタリングはまだ行っていない。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	担当者会議はまだ行っていない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		母子保健課等にも足を運び、本校舎の支援方針等を説明し、情報共有を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	まだ保育園や幼稚園等とも情報共有は行っていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	まだ卒業をした児童がいないため、行っていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	まだ地域の福祉のつながりが少ないため、そのような機会を設けられていない。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	周知活動のため、園への訪問中
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	家族参加の研修は設けられていないが、1月から無料相談会や無料開放日を設ける予定
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援終了後、支援内容の報告と共に保護者様のお悩みを聞く時間を設けている。聞いたお悩みについても、無理に一人で解決しようとせず、に他職員に共有、相談し、校舎全体で解決の糸口を模索している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやInstagram等のSNSを活用し、校舎やイベント情報を広く発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
非常時等の	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	まだ地域の福祉のつながりが少ないためそのようなイベントを行っていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事提供をしていないため詳しい対応などは取っていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		